



もちろん家庭の水道水も水質検査の対象です

**厳しい水質検査**  
 安全な水の供給は、水道の最も重要な条件です。このため、水源における原水の水質検査をはじめ、家庭の水道水が水質基準に適合しているかどうか、厳しいチェックをしています。  
 水道事業所での検査  
 水道事業所では、毎日、市内八カ所の水道水の残留塩素・濁度・色度を検査しています。また、コンピュータで配水池の水位や送水量などを監視しています。  
 広域水道事務所での検査  
 月に一回、市内十七カ所から採取した原水と栓水（蛇口の水）を、検査施設のある仙南仙塩広域水道事務所に依頼して、水質検査を実施しています。  
 この検査は、水道法に定められている水の基礎的性状など十項目（年に一回は四十六項目）を検査するものですが、白石市内の水道は、いずれの値も基準値を大きく下回っています。



配水池の水位、濁度などが一目でわかる水道事業所のコンピュータ

水質は全く問題ありません  
 宮城県仙南仙塩広域水道事務所 水質検査班長 小島秀行さん  
 白石市の水は、どの検査場でも、ほとんどの項目で厚生労働省の水質基準値の1/10未満です。水質的には問題のない、安全な水といっているのではないのでしょうか。  
 水道法では塩素消毒が義務づけられていますが、白石市の自己水源の水は濁りがなく、そのままの状態でも飲む水といつても過言ではないと思います。  
 水源地はもちろんのこと、今ある自然をそのまま残すことが、安全でおいしい水につながる条件だと思いますよ。

**基準値と検査結果**〔46項目のうち健康に関する項目の中から抽出〕  
 平成13年7月2日 三住水源採取

項目	基準値	検出値	
病原生物	一般細菌	100個/mL以下	34
	大腸菌群	検出されないこと	陰性
無機物・重金属	カドミウム	0.01mg/L以下	0.001未満
	水銀	0.0005mg/L以下	0.00005未満
	鉛	0.05mg/L以下	0.001未満
	硝酸性窒素・亜硝酸性窒素	10mg/L以下	0.27
一般有機化学物質	四塩化炭素	0.002mg/L以下	0.0001未満
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	0.0001未満
	ベンゼン	0.01mg/L以下	0.0001未満
消毒副生成物	クロロホルム	0.06mg/L以下	0.0001未満
	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.0001未満
農薬	シマジン	0.003mg/L以下	0.0001未満
	チウラム	0.006mg/L以下	0.0005未満

**おいしい水の要件**〔（ ）は平成13年7月2日に水道事業所の蛇口から採取した水の検査数値です。〕

〔水質項目〕	〔要件〕	摘要
蒸発残留物	30 ~ 200 mg/L (43)	主にミネラルの含有量を示します。量が多いと水の苦味、渋味が増し、適度に含まれると、こくのあるまろやかな味が出ます。
硬度	10 ~ 100 mg/L (21)	ミネラルの中で量的に多いカルシウムとマグネシウムの含有量を示します。硬度の低い水はくせがなく、高いと好き嫌いが出ます。
遊離炭酸	3 ~ 30 mg/L (検査項目外)	水にさわやかな味を与えますが、多いと刺激が強くなって、まろやかさを失わせます。
過マンガン酸カリウム消費量	3 mg/L以下 (0.4)	有機物量を示します。量が多い水は渋味がありますが、多量に含むと塩素の消費量も大きくなり、水の味を損ないます。
臭気度	3以下 (1以下)	水は水源の状況によりさまざまなおいぐつことがあり、土臭、生ごみ臭、腐敗臭などは不快な味をつけます。
残留塩素	0.4 mg/L以下 (0.3)	水に残留する塩素はカルキ臭を与え、濃度の高い場合には水の味をまずくします。
水温	最高20 以下 (16.8)	



広域水道事務所での水質検査

**おいしい水とは？**  
 おいしい水とは、どのような水を用いるのでしょうか？  
 ひとつの目安として、昭和六十年に「おいしい水研究会（厚生省水道環境部長私的研究会）」が提示したデータ（左表）があります。  
 水質項目  
 因、つまり、おいしい水とは、ミネラルや遊離炭酸を適度に含み、味を悪くする成分や臭気成分を含まない適温の水ということになります。

# 白石の水は安全？おいしい？

# 水道水がでるまで

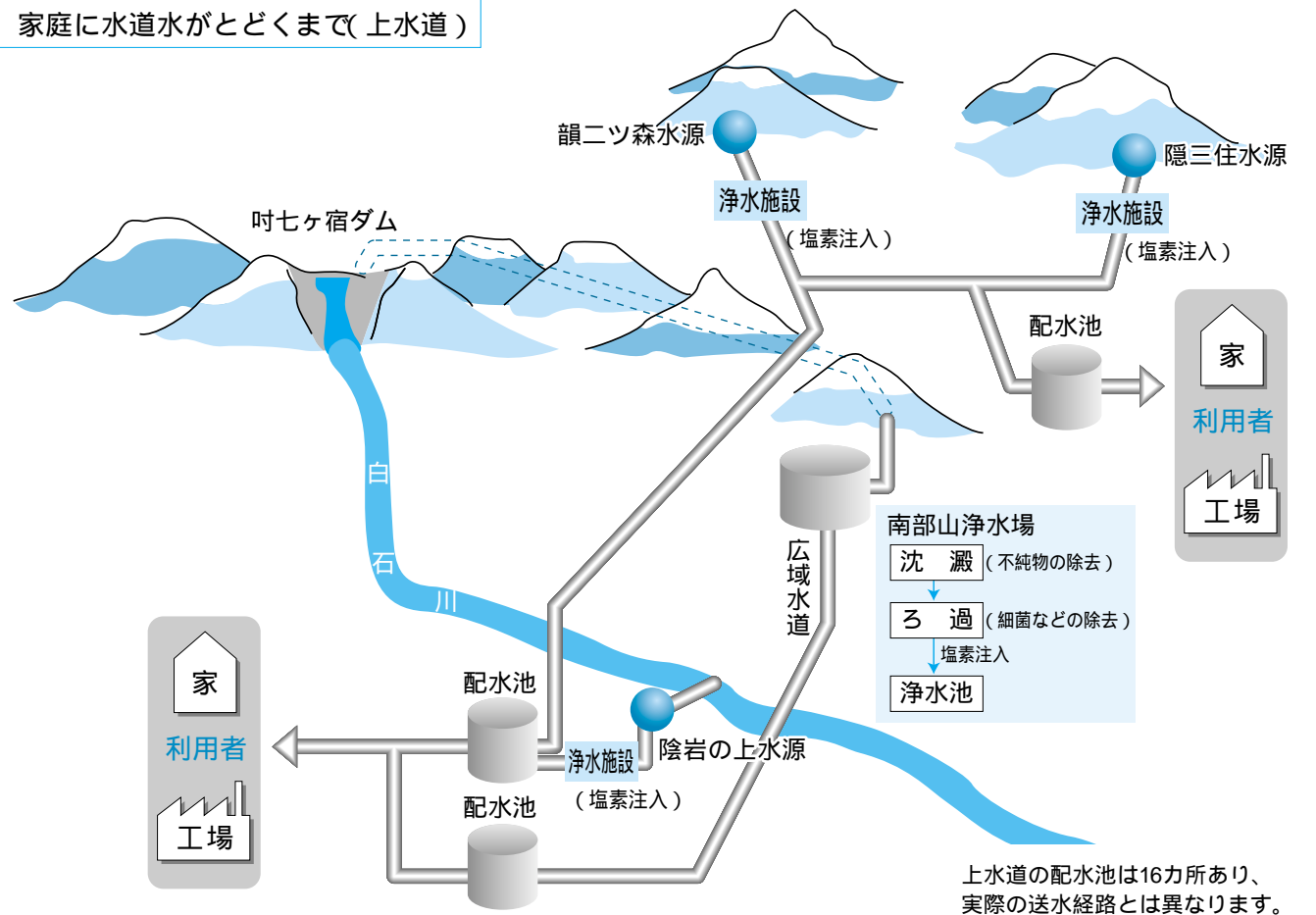


県民（7市10町）の水がめ・七ヶ宿ダム

水道水のもとになる水（原水）を取水するところ（水源）は、表流水（地表を流れる川やダムの水）、地下水（わき水）、伏流水（川床、湖床またはその付近を潜流している水）の三つに分けられます。現在の白石市上水道の水源は次の四カ所です。  
 岩の上（福岡蔵本・白石川の伏流水、最大取水量七千㎡/日）  
 三住（福岡深谷・わき水、最大取水量二千㎡/日）

二ツ森（福岡八宮・わき水、最大取水量五千㎡/日）  
 七ヶ宿ダム（広域水道・平成12年度契約水量九千五百㎡/日）  
 は白石市の独自の水源で、そこから取り入れた原水を、それぞれの浄水施設で消毒して配水池へ送ります。さらに配水池の水は、道路の下に埋めてある配水管を通じて各家庭へ送られています。もう一つは、仙南仙塩広域水道からの受水です。広域水道は、七ヶ宿ダムを水源とし、白石市のほか仙台市など六市十町で受水しています。  
 七ヶ宿ダムの原水は、南部山浄水場で不純物や細菌などの除去、消毒が行われたあと各市町の配水池に送られ、配水池から、と同じように各家庭に送られています。  
 また、簡易水道（給水人口が百人以上五千人以下の水道）の水源としては、上戸沢（わき水）、下戸沢（わき水）、湯沢（伏流水）、三住（わき水）の四つがあり、それぞれの地域で利用されています。  
 このほかに、地域住民で管理をしているわき水などを原水とした小規模水道施設が、市へ届け出のあるものだけで約五十カ所あり、ほかにも個人的に管理している施設がかなりあります。

**家庭に水道水がとどくまで(上水道)**



上水道の配水池は16カ所あり、実際の送水経路とは異なります。